

2022 | 12月期 第2四半期 決算説明資料

(2022年1月1日～2022年6月30日)

2022年7月29日

日本フェンオール株式会社

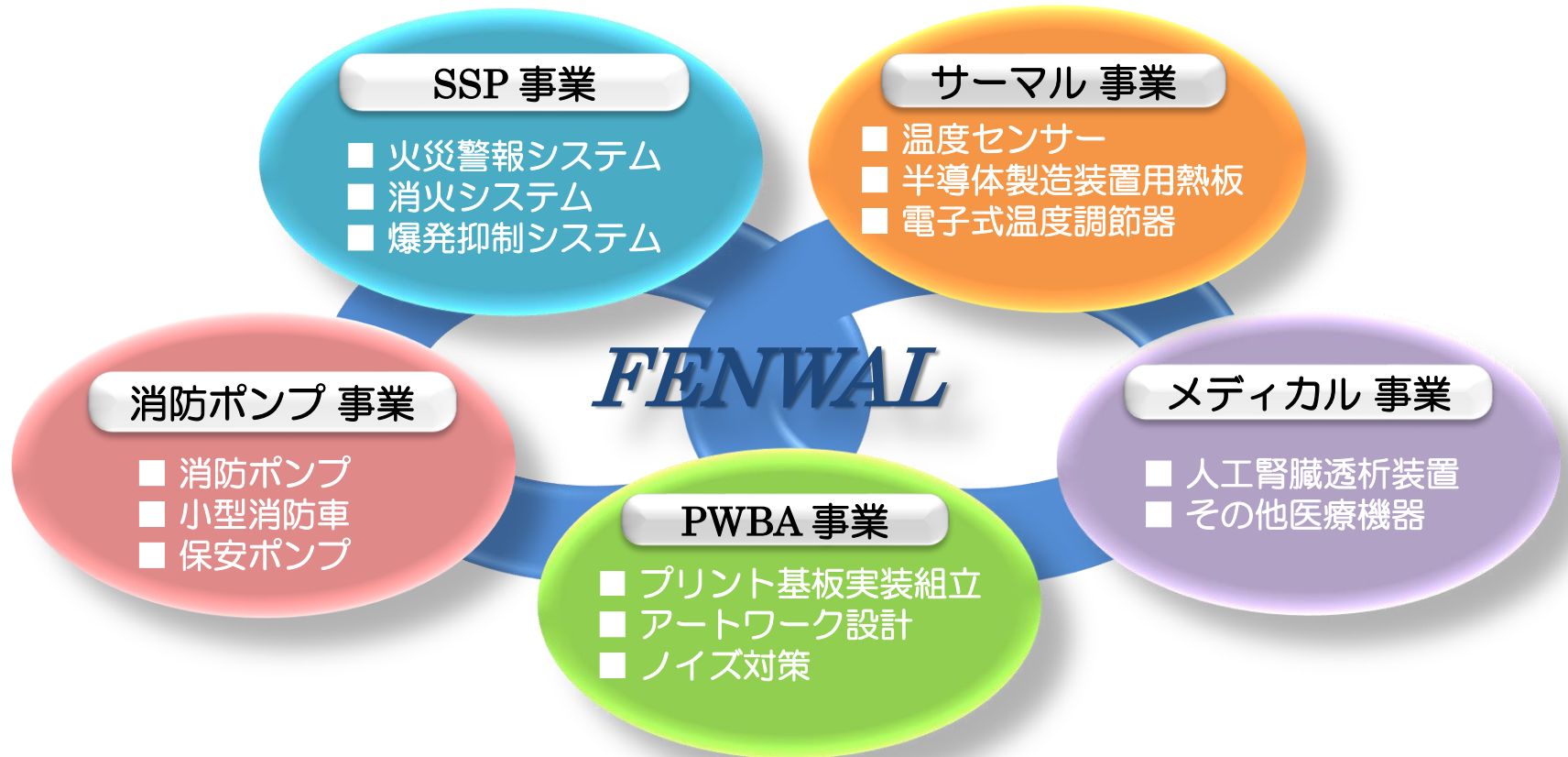
Contents

	頁
1. 事業概要	2
2. 2022年 12月期 第2四半期 決算概要	4
セグメント別実績	8
投資・財務概況・経営指標	16

1. 事業概要



熱制御技術をコアとした事業を展開



2. 2022年12月期 第2四半期 決算概要



2022年度 第2四半期の業績サマリー

前期比 売上高 $\Delta 9.4\%$ 営業利益 $\Delta 8.8\%$ 減収減益

(単位：百万円)

業績項目	当期実績		前年実績	
	実績	実績	前期比	
■ 受注	6,363	5,833	9.1%	
■ 売上	5,891	6,505	$\Delta 9.4\%$	
■ 売上総利益	1,898	2,008	$\Delta 5.5\%$	
■ 販管費	1,270	1,319	$\Delta 3.7\%$	
■ 営業利益	628	688	$\Delta 8.8\%$	
■ 営業外損益	102	20	397.4%	
■ 経常利益	730	709	3.0%	
■ 当期純利益	320	440	$\Delta 27.2\%$	
■ 1株当り純利益(円)	57.34	78.04	$\Delta 26.5\%$	
■ 平均レート(円)	123.16	109.84	12.1%	

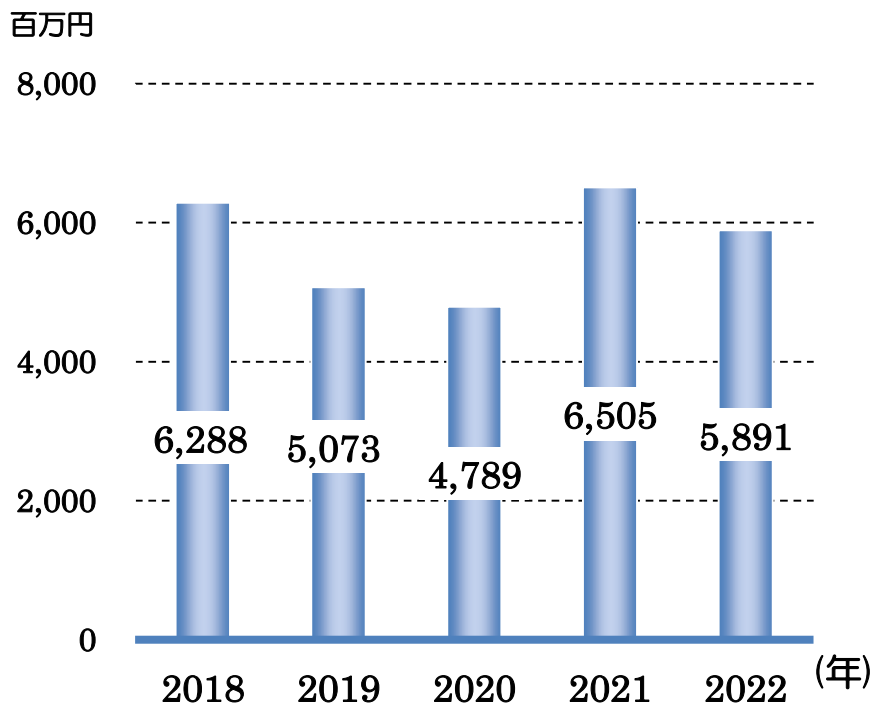


2022年度 第2四半期業績推移

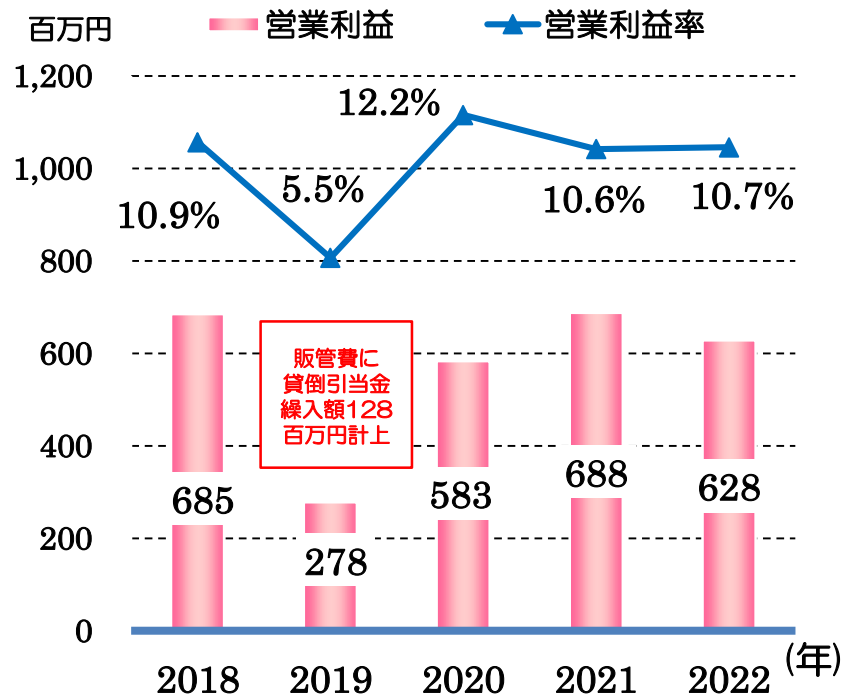
売上高：消防ポンプ及びSSP部門の減少により前期比9.4%減少

営業利益：前期比8.8%減益となったものの利益率は前期並みを確保

売上高



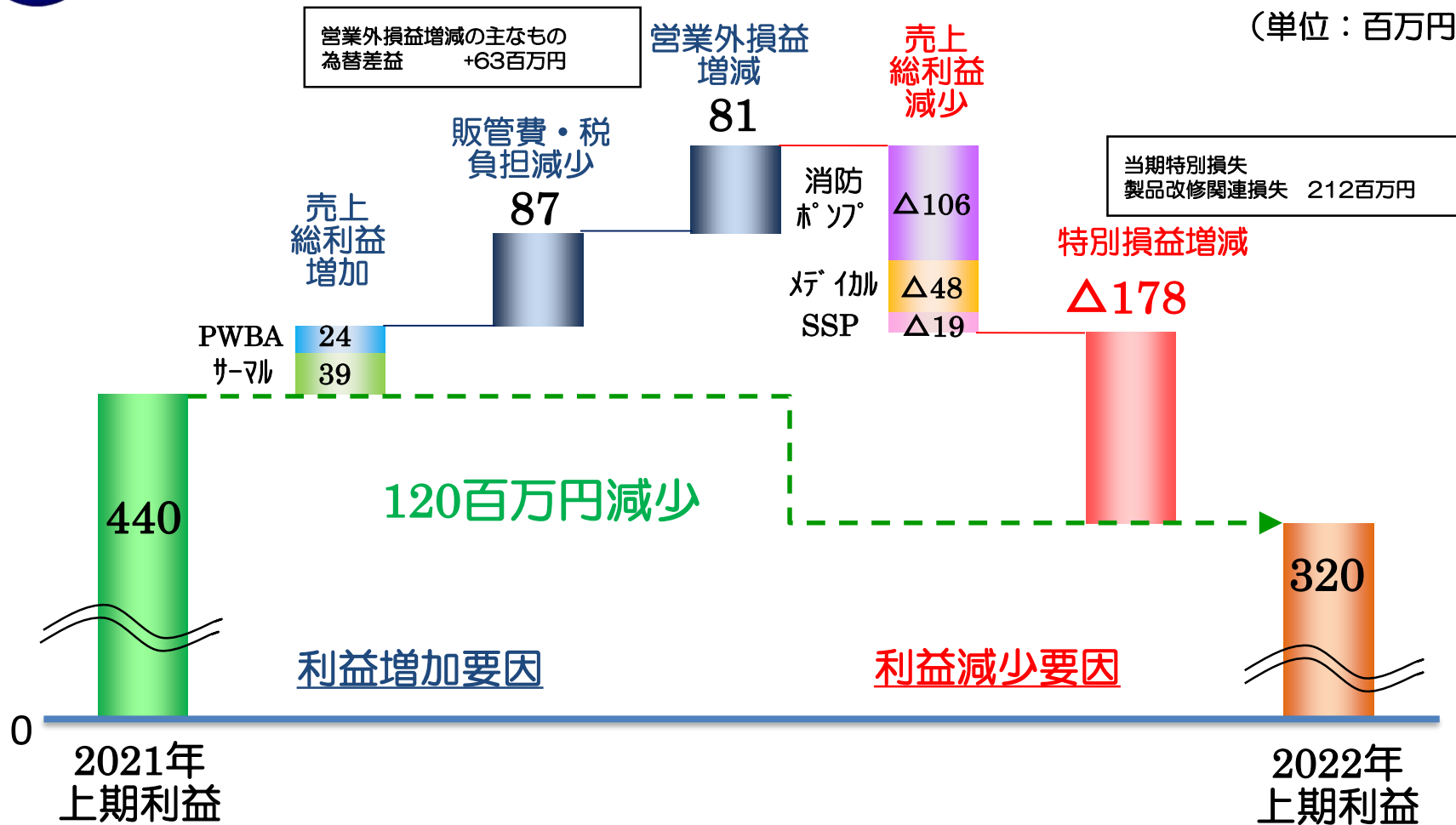
営業利益





前期比 当期純利益増減要因

(単位：百万円)



セグメント別実績

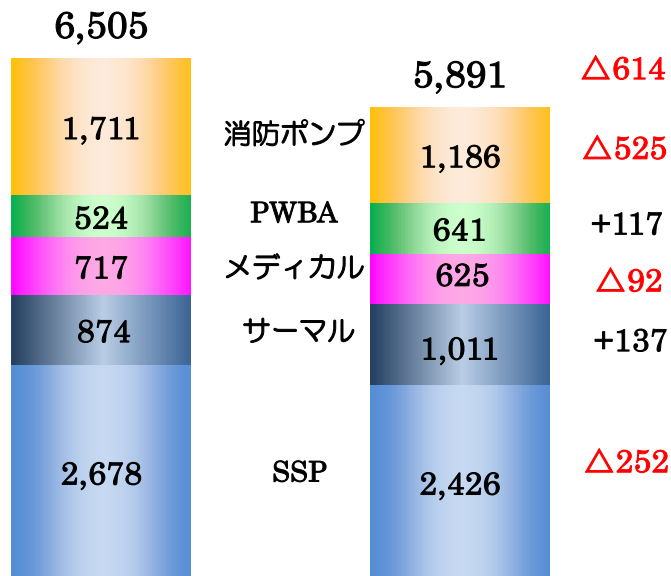


セグメント別増減明細

売上高の増減

百万円

増減



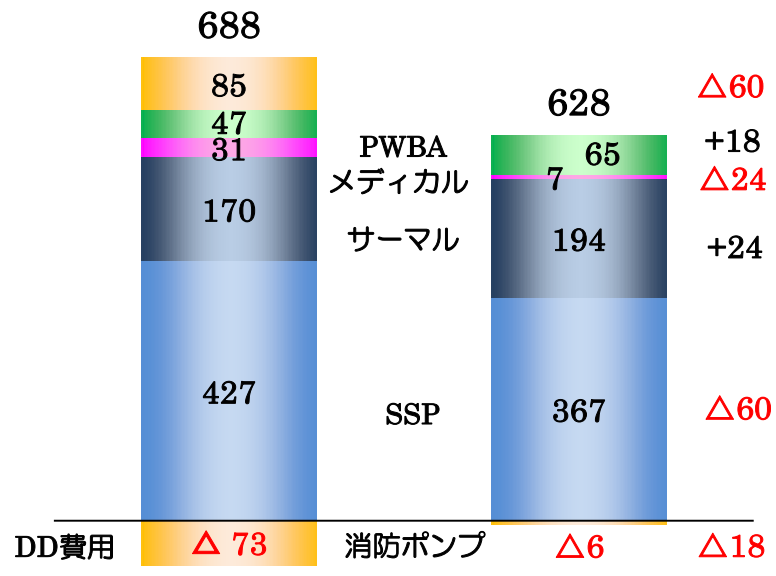
2021年
上期

2022年
上期

営業利益の増減

百万円

増減



DD費用

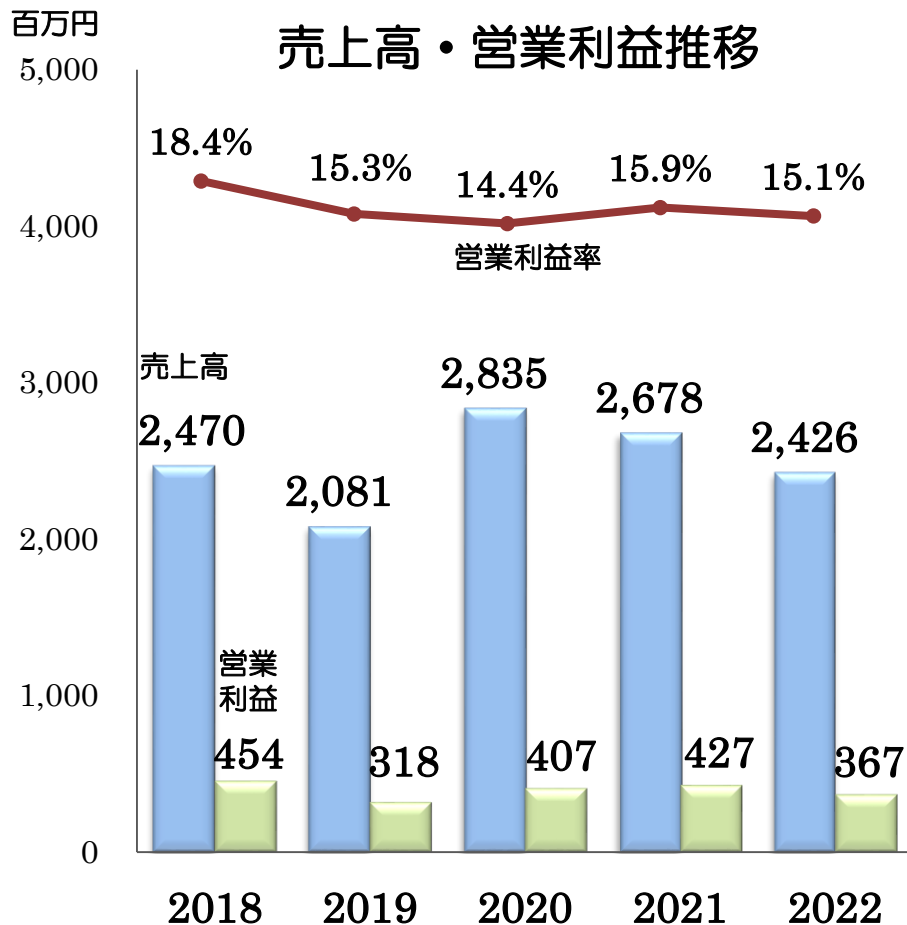
2021年
上期

2022年
上期

※全社費用をセグメント別に配賦
DD・・・買収にともなうdue diligence



セグメント別売上高・営業利益 SSP



【減収・減益】

・売上高	前期比	△ 9.4%
・営業利益	前期比	△ 14.1%

1. 前期比較

(1) 売上高 (252百万円減少)

特定顧客向けのガス消火設備及び大型改修工事案件が好調に推移したものの、不正問題に伴う出荷停止及び半導体電子部品不足に伴う製品の納期遅延等により減少

(2) 営業利益 (60百万円減少)

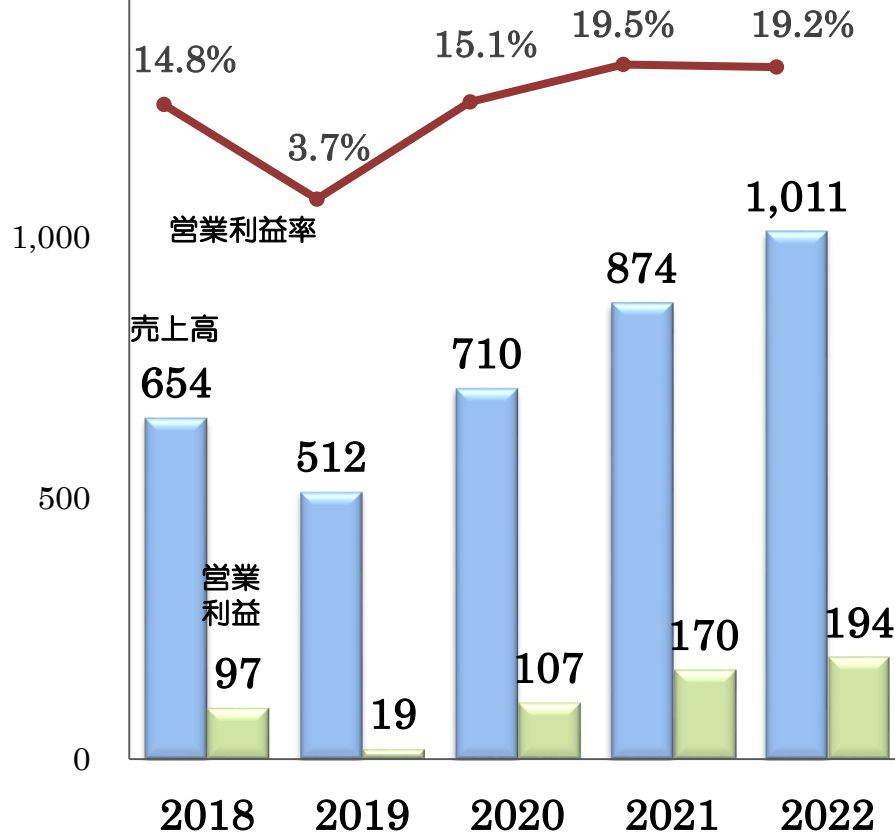
売上高の減少と販売費・一般管理費の増加に伴い、営業利益も減少



セグメント別売上高・営業利益 サーマル

百万円
1,500

売上高・営業利益推移



【増収・増益】

・売上高	前期比	+15.7%
・営業利益	前期比	+14.1%

1. 前期比較

(1) 売上高 (137百万円増加)

① 半導体製造装置用熱板 (85百万円増加)
半導体市場における需要増を背景とした受注増加により売上高19.6%増加

② センサー (85百万円増加)

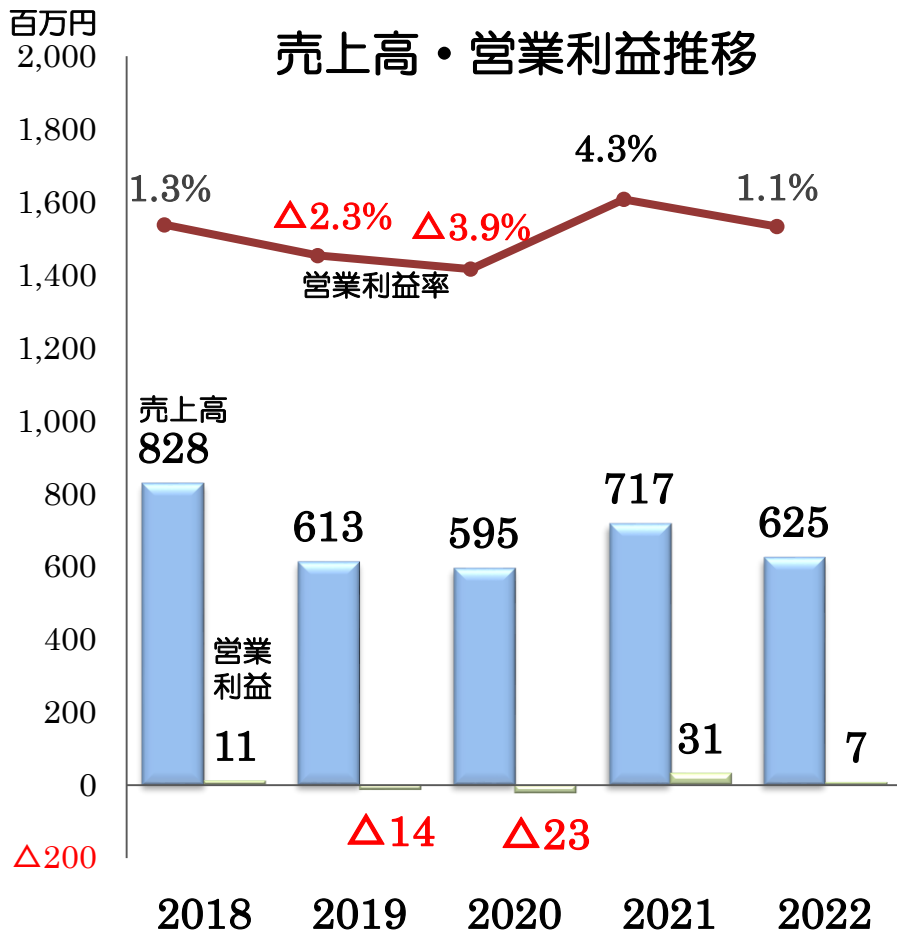
半導体市場における需要増を背景とした受注増加により売上高38.6%増加

(2) 営業利益 (24百万円増加)

熱板及びセンサーの売上及び売上総利益が増加。営業利益率は高水準を維持



セグメント別売上高・営業利益 メディカル



【減収・減益】

・売上高	前期比	△12.9%
・営業利益	前期比	△77.4%

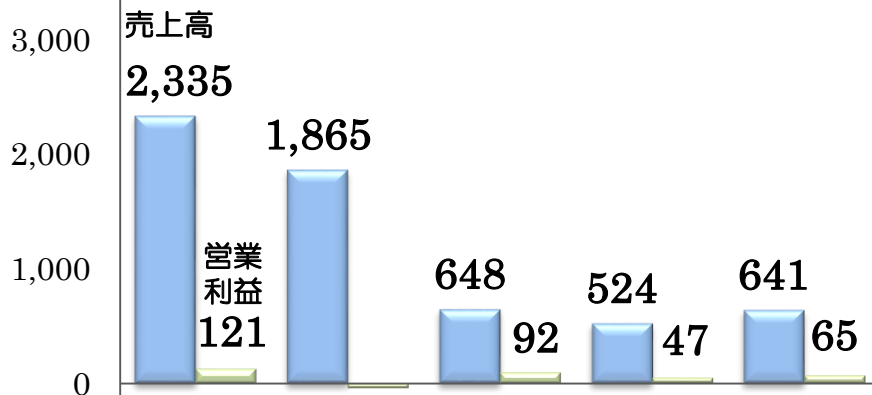
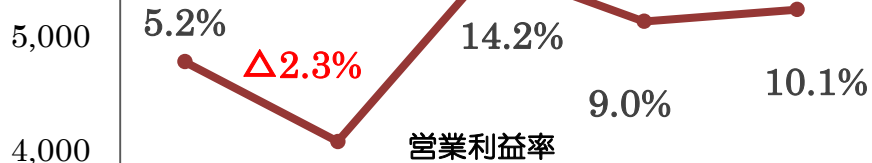
1. 前期比較
- (1) 売上高 (92百万円減少)
新型コロナウイルス感染症の長期化に伴う需要減や客先における在庫調整等もあり売上高は減少
- (2) 営業利益 (24百万円減少)
売上高減少により営業利益も減少。前期は高利益の開発案件により営業利益率が上昇。今期は、売上が減少したものの原価改善等により黒字確保



セグメント別売上高・営業利益 PWBA

百万円
6,000

売上高・営業利益推移



△43 ※1

△1,000

※1 販管費に貸倒引当金
繰入額128百万円計上

2018 2019 2020 2021 2022

【増収・増益】

・売上高	前期比	+22.5%
・営業利益	前期比	+38.3%

1. 前期比較

(1) 売上高（117百万円増加）

電子部品調達難が継続しているものの産業機器、医療機器向け製品が堅調に推移し、売上高増加

(2) 営業利益（18百万円増加）

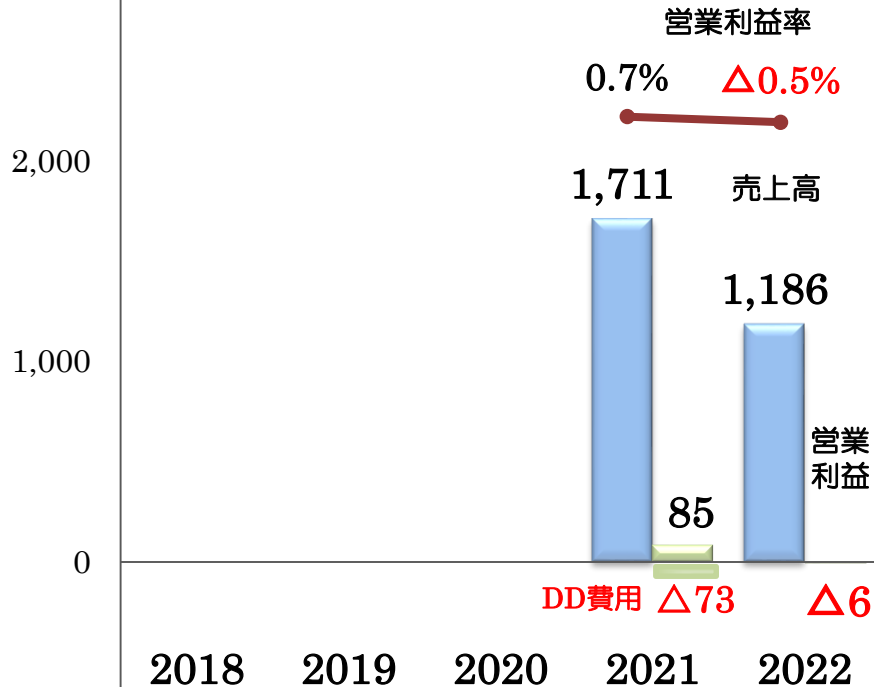
売上高増加により営業利益増加。



セグメント別売上高・営業利益 消防ポンプ

百万円
3,000

売上高・営業利益推移



【減収・減益】

・売上高	前期比	$\Delta 30.7\%$
・営業利益	前期比	赤字転落

1. 当期の状況

(1) 売上高 (525百万円減少)

新型コロナウイルス感染症の影響により、官公庁における防災関連の予算が縮小したため、特に消防車の売上高が減少

(2) 営業利益 (18百万円減少)

売上高減少により営業利益も大幅に減少。

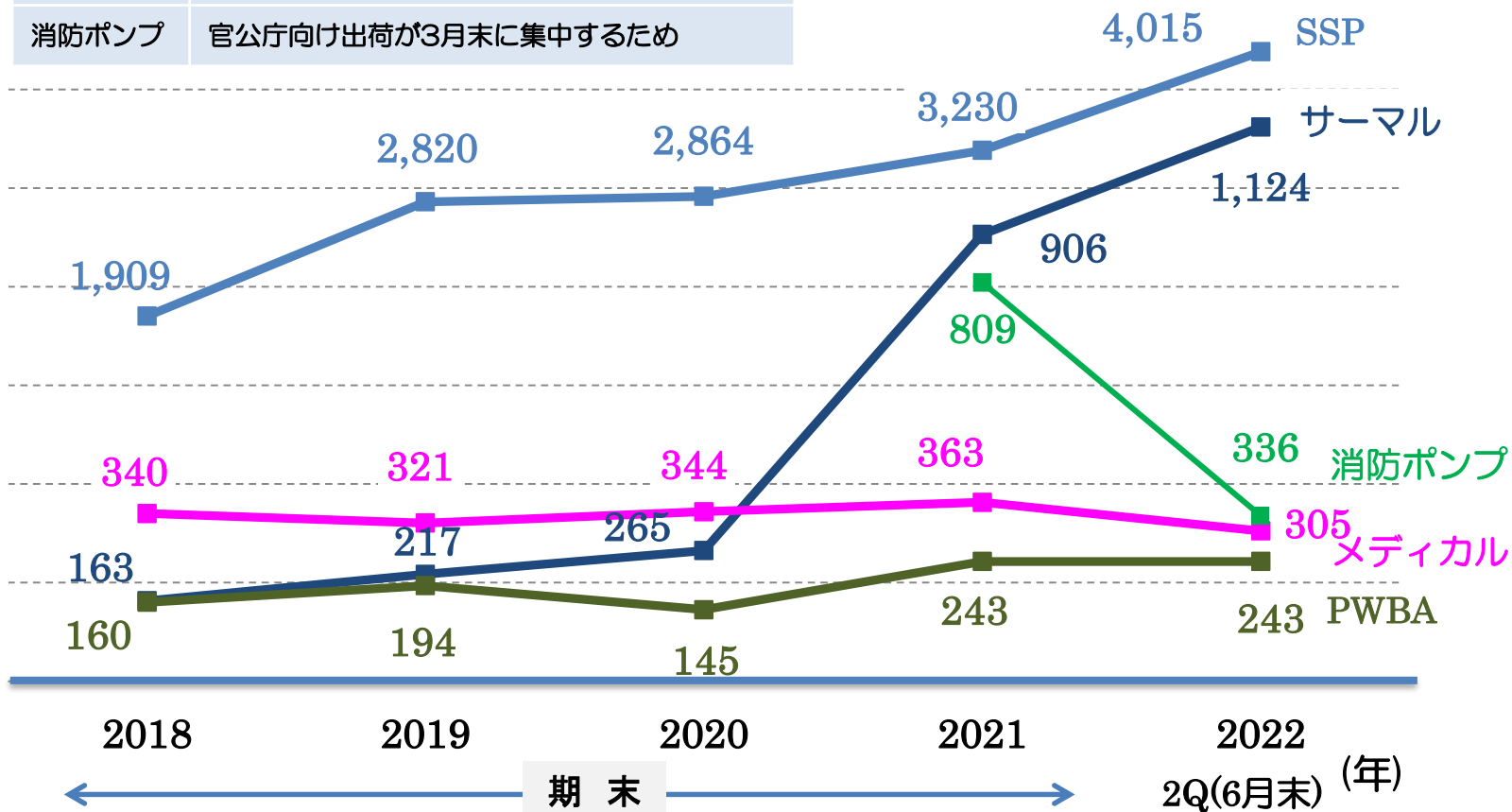
$\Delta 1,000$



連結部門別受注残高推移

SSP	大型工事案件受注による
サーマル	半導体製造装置向けセンサーの受注増加による
消防ポンプ	官公庁向け出荷が3月末に集中するため

(単位：百万円)



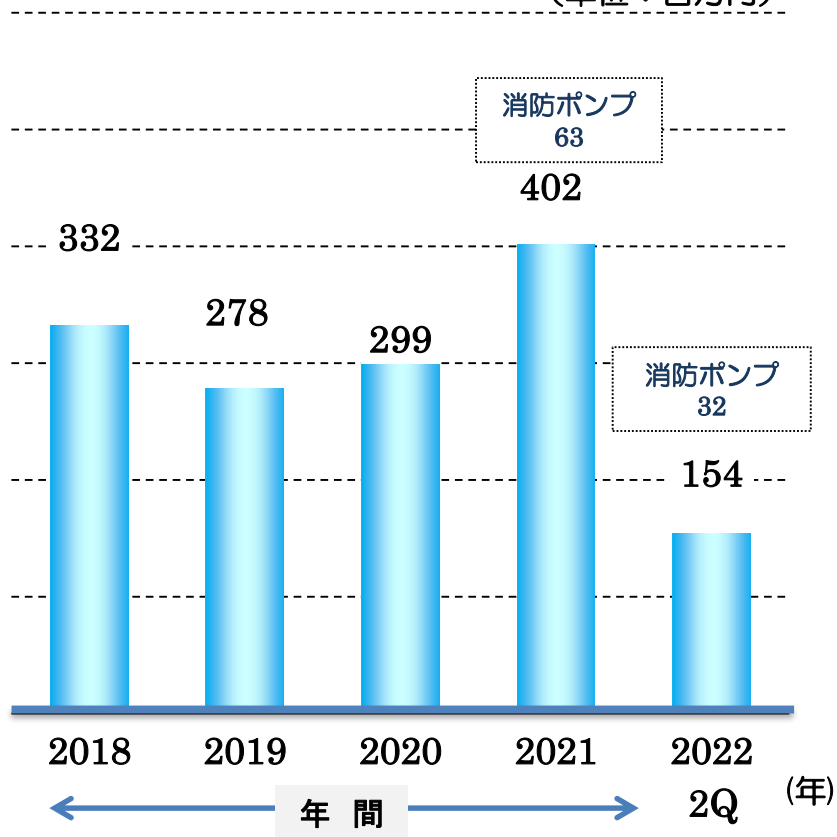
投資・財務概況・経営指標



投資概況

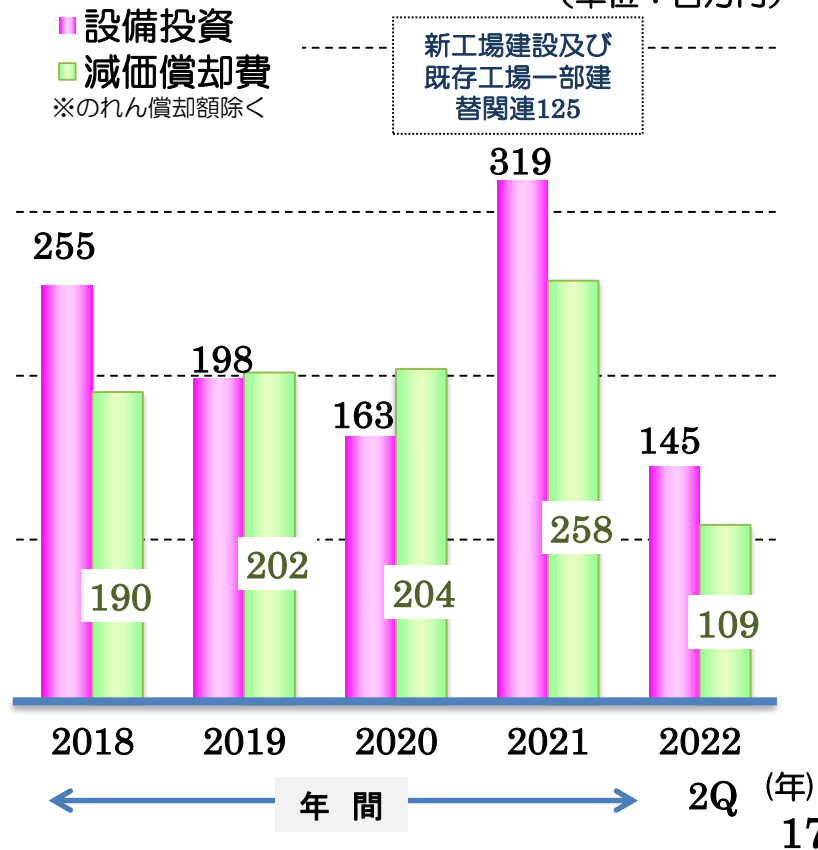
研究開発費

(単位：百万円)



設備投資・減価償却費

(単位：百万円)

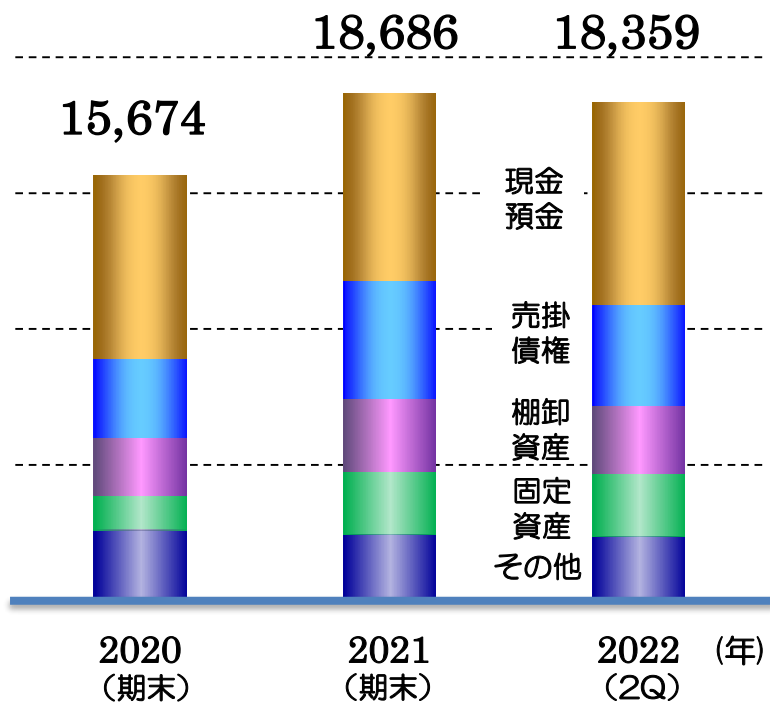




連結貸借対照表(資産の部)

運転資本の改善により現金預金が増加、資産合計の大幅な増減なし

資産推移



増減内容

(単位：百万円)

項目	当期	前年度末	増減率
現金預金	7,473	6,890	8.5%
売掛債権	3,684	4,333	△15.0%
棚卸資産	2,527	2,697	△6.3%
固定資産	2,300	2,306	△0.3%
その他	2,375	2,457	△3.3%
合計	18,359	18,686	△1.7%



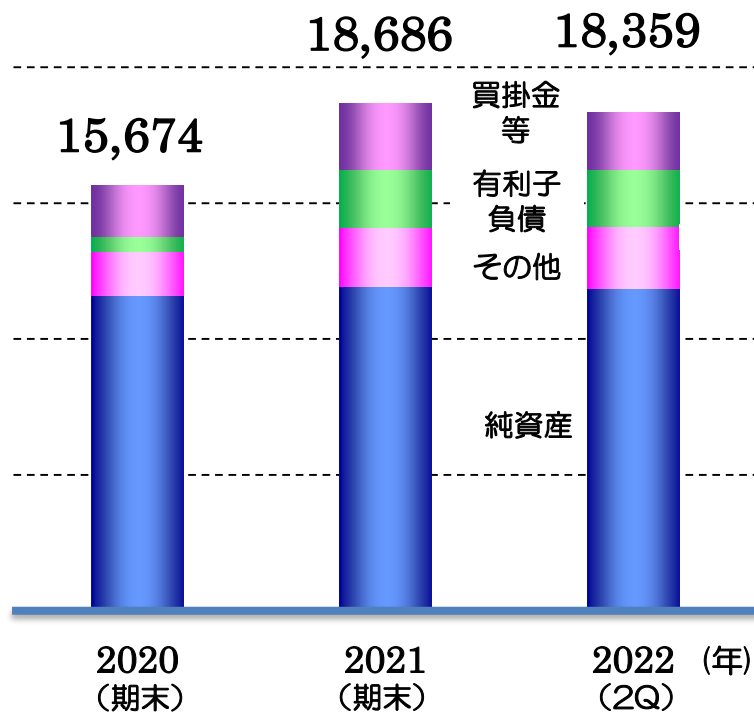
連結貸借対照表(負債・純資産の部)

負債・純資産ともに大幅な増減なし

負債・純資産推移

増減内容

(単位：百万円)



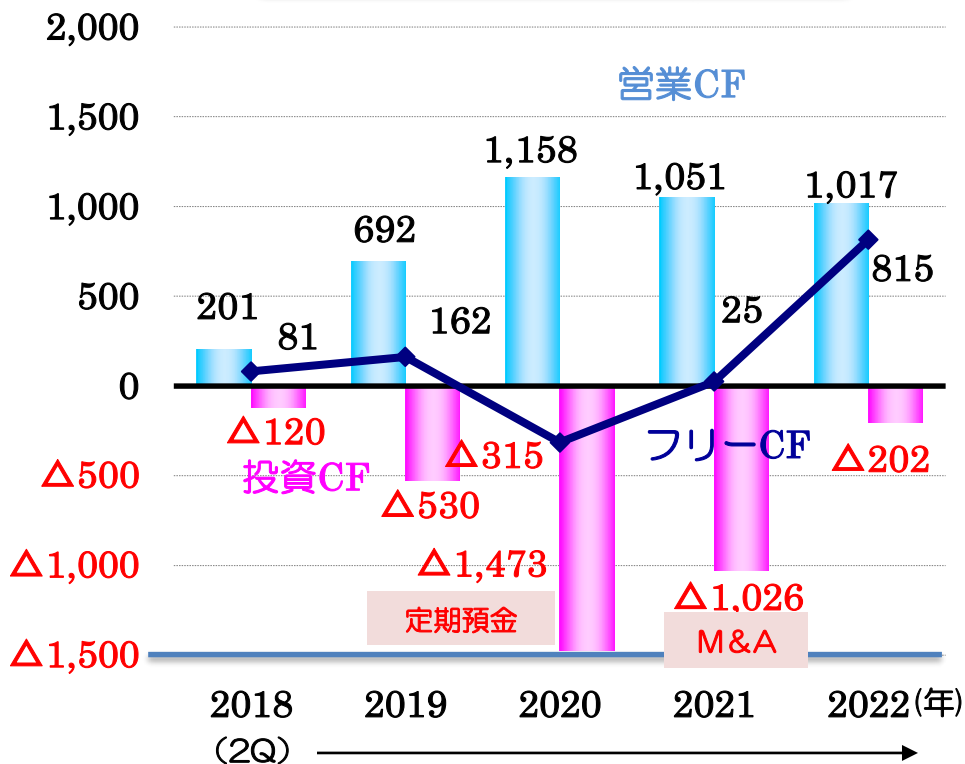
項目	当期	前年度末	増減率
買掛金等	2,106	2,455	△14.2%
有利子負債	2,100	2,114	△0.7%
その他	2,314	2,195	5.4%
純資産	11,839	11,921	△0.7%
合計	18,359	18,686	△1.7%



キャッシュ・フロー計算書

営業利益と運転資本改善により期末残高は前年並みを確保

キャッシュ・フロー推移



増減内容

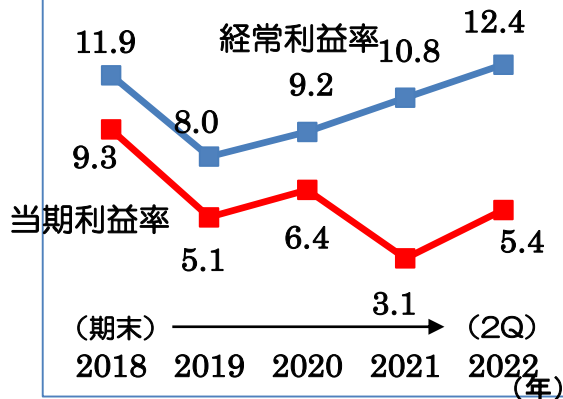
(単位: 百万円)

項目	当期	前期	増減率
営業CF	1,017	1,051	△3.2%
投資CF	△202	△1,026	△80.3%
財務CF	△399	682	—
換算差額	87	35	148.6%
合計	502	742	△32.3%
期首残高	5,740	5,527	3.9%
期末残高	6,242	6,270	△0.4%
フリーCF	815	25	—

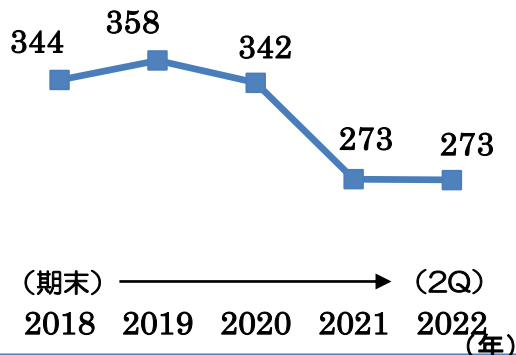


経営指標

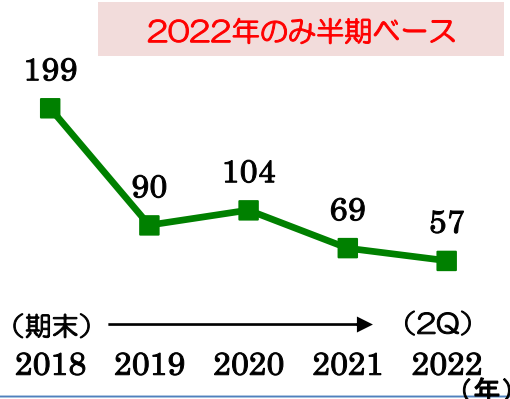
売上高利益率 (%)



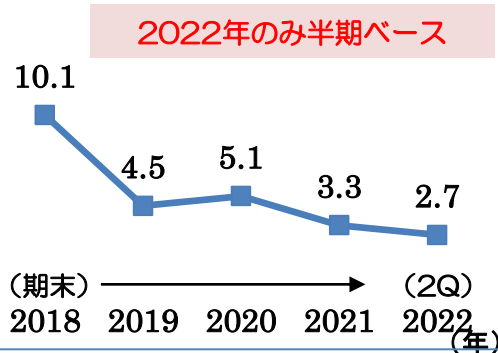
流動比率 (%)



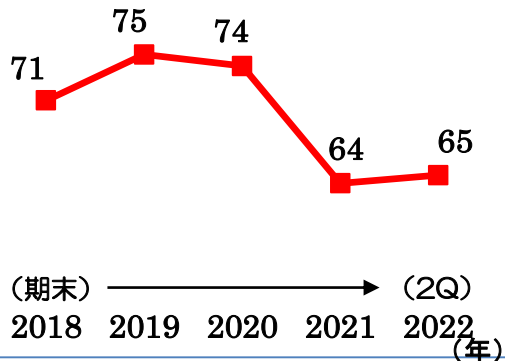
1株当り純利益 (円)



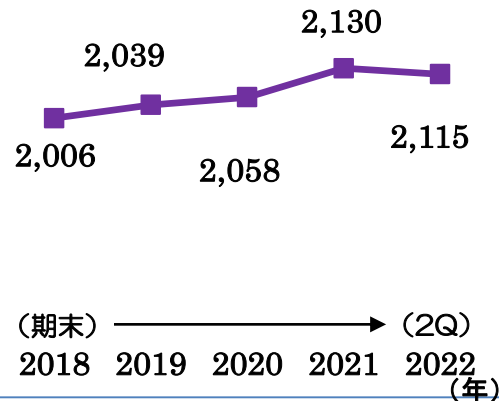
自己資本利益率 (%)



自己資本比率 (%)



1株当り純資産 (円)



■ 注意事項

本資料に記載されている内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、特に見通し情報等につきましては、市場環境、為替レート等々様々なリスクや不確実性を内包しておりますので、当社の予測とは異なる可能性があります。

■ お問い合わせ先

日本フェンオール株式会社

取締役 管理統括部長 田原 康治

E-mail : yasuharu.tahara@fenwal.co.jp

住 所 : 〒102-0072

東京都千代田区飯田橋一丁目5番10号

電 話 : 03-3237-3561